

# コンピュータ応用演習

## (探索問題を解く)

渡辺

### 予定スケジュール

課題1 . 10月2日, 16日 迷路を作る  
(レポート締め切り 10月23日 17:00)

課題2 . 10月23日, 30日 再帰版深さ優先探索(DFS)  
(レポート締め切り 11月13日 17:00)

課題3 . 11月13日, 20日 スタック版深さ優先探索(DFS)  
(レポート締め切り 11月27日 17:00)

課題4 . 11月27日, 12月4日 幅優先探索(BFS)  
(レポート締め切り 12月11日 17:00)

課題5 . 12月11日, 18日 プライオリティキューを用いた探索  
(レポート締め切り 1月15日 17:00)

1月15日 課題最終締め切り

### 注意事項

- ノートパソコン毎回使用するので、忘れないこと。
- 演習開始直後出席カードを配り、30分後に回収する。遅刻者はカード回収時に申し出ること。
- 演習開始30分後以降の遅刻は、欠席扱いとし遅刻2回で欠席1回とする。
- ノートパソコンを忘れたものは、遅刻扱いにする。
- 4回以上欠席した場合、本演習は不合格とする。
- 授業態度が悪いものは欠席扱いにすることがあるので注意すること。
- 演習中にゲームをしていた場合は不合格とする。
- レポート締め切りを過ぎて提出した場合は、そのレポート点は半分とする。

## [レポートの提出法]

レポートはe-mailで提出のこと。書類添付，HTML機能は使わないこと。フォーマットの不備は未提出扱いとする。他人のものをコピーしたものを出した場合はレポート点は0とする。(受講者が少ないのでチェックは容易である。)また疑わしいものは口頭試問を行う。

提出先e-mail:        coe@wtlab.osakac.ac.jp  
subject:             kadai1         (課題1のとき)  
                      kadai2         (課題2のとき)...

.....e-mail本文の提出フォーマット.....

/\*

課題番号：2

学籍番号：P97XYZ

氏名     :応用  演習

必要ならば特に工夫した点を簡潔に書くこと。(課題の説明以上に工夫を凝らしていると認められた場合は大幅に加点する。)

\*/

以下プログラム本体を書く

```
#include <stdio.h>
```

```
void main()
```

```
...
```